

## 聖書研究 第三十課 弟子としての生活

バプテスマは、まさに、キリストの弟子としての、新しい人生の始まりです。「クリスチャン」という言葉は、新約聖書に3回だけ述べられていますが、「弟子」という言葉は、260回以上繰り返されています。弟子であるということは、何を意味しているのでしょうか？ 弟子としてあなたはどのように成長するのでしょうか？ この最後の課では、この非常に重要な主題に、聖書が何を教えているのかを探究します。

### 1. イエスは、何が私たちに弟子の資格を与えられましたか？ ヨハネ 8 : 31

---

注：私たちは、一生を通じて神の權威を認め、そして彼のみ言葉に従って生きる必要があります。その結果如何を問わず、私たちは彼の言葉を受け入れて、日毎の生活にそれを実行するように召されています。

### 2. すべてのことにおいて、イエスは私たちの模範になっていますか？

I ペテロ 2 : 21

---

### 3. この世におられる間のイエスの態度はどんなものでしたか？ ヨハネ 6 : 38

---

### 4. キリストにあずかるバプテスマを受けることは何を表していますか？

ローマ 6 : 3, 4

---

### 5. 「キリストと共に十字架につけ」られることを、パウロはどのように説明しましたか？

ガラテヤ 2 : 20

---

注：ちょうどキリストが天父に全く降伏されたように、私たちもキリストに全く明け渡されなければなりません。私たちは、ぶどうの木とその枝のように、イエスにつながることが大事です。

### 6. 弟子として、自我に死ぬこと、または降伏することは、何度起こりますか？ ルカ 9 : 23

---

注：私たちが、日々イエスと共に過ごす時、礼拝時間の一部分を、私たちの生涯を再献身する時とすべきです。この降伏を積極的な行わなければ、「自我」は、また戻って来ようとしません。ですから、彼との結びつきにとって極めて重要なのです！

### 7. 一粒の麦が多くの種を生じさせる前に、何が起こらねばなりませんか？ ヨハネ 12 :

23-2

注：人生それ自体のために生きる生涯は、浪費です。他の人への奉仕にささげられた人生だけが、神に用いていただくことが出来ます。自分の必要と楽しみに夢中になっている人は、神の真の弟子にはなれません。

8. かの「日」が近づいているのを見て、私たちは何をどのように勧められていますか？  
ヘブル 10 : 25

9. 弟子たちが全体の一部分であるのように、私たちは何でしょうか？ I コリント 12 : 12, 13, 27 ; ローマ 12 : 4, 5

注：ちょうど体の中で、頭または脳が各部分を支配しているように、キリストのお体を作る私たちが皆、キリストであられる頭に支配されまたは委ねなければなりません。

10. 私たちは、どんな努力を尽くすべきでしょうか？ エペソ 4 : 3-6

11. 私たちの中で何人がキリストから霊の賜物をいただいていますか？ エペソ 4 : 7, 8

12. キリストの体である私たちに与えられた、どんな異なる賜物がありますか？  
ローマ 12 : 6-8

注：例えば、教会の昼食で、だれかがコップ一杯の水をこぼすと仮定します。預言の賜物を持つ人は言うことでしょう「私は、その水をテーブルの端のそんなそばに置かないように言ったでしょ」。指導の賜物を持つ人は、何をすべきか、他の人に指図し始めることでしょう。奉仕の賜物を持つ人は、モップを持ってくことでしょう。教師は聖書の中の水の重要性を説明することでしょう。勧める人は、その人を激励しようとするでしょう。寄附する賜物を持つ人は、彼が使うための新しい水のボトルを買うことでしょう、そして慈悲を持つ人は、同情を示し、気分が良くなるまでその人の隣に座ってあげるでしょう。

13. 教会における、これらの奉仕の賜物の目的は何ですか？ エペソ 4 : 11, 12

注：神の教会を築き上げるために、私たちは皆、演じる役割を持っています。能力に従って用いられるための特別な賜物を、神はそれぞれの人にお与えになりました。他の人たちが少しも持たないのに対して、ほんの少数の人が全ての教会の責任を持つことは、神のみ心では

ありません。

14. キリストの体に築き上げられることになっている三つの分野は何ですか？

エペソ 4 : 13

- a. \_\_\_\_\_
- b. \_\_\_\_\_
- c. \_\_\_\_\_

15. どんな賜物あっても、すべての弟子にどんな働きが任命されていますか？

マタイ 28 : 19, 20

---



---

注：「キリストがそのために死なれた魂を愛することは、自我を十字架につけることを意味する。神の子である者は、これからは自分自身を世の救いのためにさげられた鎖の一環と見なさねばならない。すなわち、神のあわれみの計画において、自分をキリストと一体とみなし、失われた者をさがし求め、これを救うために、キリストと共に出て行かねばならない。クリスチャンは、自分が神に献身したこと、また自分の品性を通して世にキリストをあらわすのだということをたえずみとめる。キリストの生活にあらわされた自己犠牲、同情、愛が、神のために働く者の生活に再現される」。Ⅱ各希 p. 187, 188

16. 弟子としての生活の秘訣は何ですか？ ヘブル 12 : 1-3

---

注：その秘訣は、常に目をキリストに集中させることです。彼に祈り、御言葉を読み、そして、生活の中で聖霊と協力することによって、これをします。いつも意気消沈している人は、キリストと共に過ごす時を持っていないのです。

**結論：**弟子というのは、キリストの支配にゆだねた人で、他の人を同じお方のもとに導きます。弟子の優先事項は、神を求めてお仕えすることです。神は私たちに、信仰にあって互いに仕え、励ますことを望んでおられます、そして各自に、教会を築き上げる助けをするために、特別な霊的賜物をお与えになりました。神は私たちに、教会の一致を守るように望んでおられます、なぜなら、他の人の救いのために、神がお働きになるのは、この媒介を通してだからです。彼の代表者として、私たちは他の人々を愛し、仕えるために召されています。これより高い召命は他にありません。

## 三十課の答えとなる鍵

質問 1. 彼の教えのうちにとどまっていること。

質問 2. はい。

質問 3. 彼の心のままではなく、父のみ心を行うために来ました。

質問 4. キリストの死にあずかるバプテスマを受けました。

質問 5. もはや生きているのは彼ではなく、キリストが彼のうちに生きておられるのであると彼は言いました。

質問 6. 日々。

質問 7. 死ななければなりません。

質問 8. 互いに集会をやめることはしないで。

質問 9. キリストのからだ。

質問 10. 平和のきずなで結ばれて、聖霊による一致を守り続けるように。

質問 11. 私たちみんなに。

質問 12. 預言、奉仕、教え、勧め、寄附する、指導、慈善。

質問 13. キリストのからだを建てさせるため。

質問 14. a-すべての者が、信仰の一致に到達し  
b-神の子を知る知識の一致に到達し  
c-全き人となり；キリストの満ちみちた徳の高さにまで至る

質問 15. 行って、すべての国民を弟子として、彼らにバプテスマを施し、神が私たちに命じておいたいっさいのことを守るように教えること。

質問 16. イエスを常に仰ぎ見つつ。